

㈱縁の下 ちたともに 福祉特化型整理事業 整エ〜ル。

○㈱縁の下 ちたともにとは？

㈱縁の下 ちたともには、「ちた、地域とともに」をテーマに、認知症になっても、障がいがあっても、住み慣れた地域の中で自分らしく生きることができるよう私たちが「縁の下の力持ち」のような役割で支援をしていくことが、使命であると考えています。私たちが提供する福祉サービスを通じて、地域に住む方々が住みよい生活環境を創造する一助となり、「電気、ガス、水道」のような生活になくってはならないインフラのような存在になりたいと考えています。

○福祉特化型整理事業 整エ〜ル。とは？

㈱縁の下 ちたともにが行う訪問介護事業、居宅介護支援事業に加えて、新たに第3の事業として福祉に特化した整理事業となります。遺品整理や生前整理、汚部屋の清掃や保険外の実費のホームサポートサービスを行う為に、新たな事業部門 整エ〜ル。を立ち上げ、令和6年10月より始動しています。

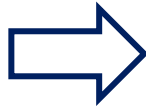
○事業の目的について

① 「いらぬ物をいる人へ」「人と物を繋ぐ縁結び」

事業を通じて依頼人から頂いた不用品を生活にお困りの方等、必要な方に提供し、生活の質が上がるような取り組みをしたいと考えています。また、不用品を有効活用する事で、廃棄物の削減、循環型社会に少しでも貢献できればと考えています。



整理事業にていただいた
不用品の洗濯機



洗濯機が故障され、お困りの利用者様宅に設置させていただきました。大変喜んで使用されています。



② 「働きたくても働けない人に働く場所を」

整理事業においては様々な「物」が発生し、処分や次の方の手に渡るまで多くの工程が必要になります。整理や仕分け、ゴミの分別や売却等・・・その業務は多岐に渡ります。事情があっても働きたくても働けない方にその方の希望や置かれた状況を踏まえた上で、その方が輝ける職場を事業を通じて弊社の専門職と一緒に創造したいと考えています。

③ 「整エ〜ル。のオリジナルサービス」

普段は主に介護の資格を取得して訪問介護員として働いているスタッフや遺品整理士を取得しているスタッフが作業する事により、何らかの障がいをお持ちで、配慮が必要な方に配慮が行き届いたサービスを提供する事が可能です。また、福祉の専門職としての高い倫理観の下、常に健全で透明性のある、適正価格、高品質のサービスを提供します。

④ 「自立した事業展開の構築」

介護報酬の単価の改定や物価の高騰などにより、介護事業者の経営は厳しさを増しています。事業を通じて当社の職員や当社の職員の家族に働く場を提供して、世帯単位での収入の増加、福利厚生の実現をしていきたいと考えています。

